

地域の企業と地元の蔵元がつながる!

地域の食材を活かしたお料理と地域の資源から生まれたお酒のコラボ!!

地域のものを地域で食べる。地産地消で地域貢献。



水谷憲郎さん
地元の蔵元

羽田酒造 有限会社

創業 120 余年。「清酒 初日の出」は、京都北山の町周山でひっそりと地元の人々に愛飲されながら育まれてこられました。粒よりの酒造米と伝統ある技術を結集した手作りの地酒。京都北山の自然と清澄な大気。桂川上流の伏流水・祝米といった水と米にこだわり、蔵人たちが自らの手でお米を作り、丹精を込めて酒造りをされています。



代表取締役社長 関佳彦さん
地域の企業

有限会社 京フーズ

事業の規模拡大よりも、目の前のお客様を大切に、そして社員の方々が楽しく働けるような工夫をし続け、お弁当販売のお店「遊食邸」から、地域の方々に食の安心・安全を届けてこられました。さらに地域の方に、おいしく・安く・安心な食を提供したいと「烏丸ダイニング プレミアム百」をオープンし、お店の中は常に笑顔と優しい雰囲気であふれています。

日 時：平成 26 年 9 月 27 日(土)
19:00～21:00

場 所：烏丸ダイニング
『プレミアム百』

京都市中京区手洗水町
ホテルチェックイン 2F(烏丸蛸薬師東側)

定員：20 名

参加費：3,900 円 (お料理代)

Web の申込みフォーム又は、
FAX でお申込み下さい。(裏面へ)

タイムスケジュール

- 19:00～京フーズ 関さん
地域の食材のお話
- 19:10～羽田酒造さま
地域の酒づくりのお話
- 19:20～交流会
- 21:00 解散



羽田酒造様さまイチオシ!!



季節もの!! ひやおろし

地元のお水とお米にこだわる
お酒造りをお聞きます。
「冷や」のまま大桶から
樽に「卸し」て出荷した
「ひやおろし」と呼ばれる
名前の由来も学べます。

現在は旬に関係なく何でも
手に入る時代となりました。
地域で採れたものを地域で食べる。
地産地消で地元で頑張っておられる
企業さんを応援しましょう!!



ちーびず推進担当
弘田



主催・申込み・問合せ

株式会社カスネット 社会貢献室 京都ちーびず推進担当 E-mail: abc@castanet.co.jp TEL. 075-681-9100 <http://www.castanet.co.jp>

※京都府では、新しい仕事や働き方で継続的な地域づくりを目指す取り組み「京都市ソーシャル・ビジネス＝京都地域力ビジネス(愛称: 京都ちーびず)」を応援しています。

ちーたび(地元ガイドの交流まちあるき)、ちーびずマルシェ(交流共同販売会)、ちーびず女子のイチオシカフェ(交流カフェ)は、各地のちーびずを応援する民間と京都府との協働事業です。

<問い合わせ先: 京都ソーシャル・ビジネスセンター(電話 075-414-4865)> このイベントは京都府緊急雇用創出事業・起業支援型地域雇用創造事業の一環です。

お申込み方法は、HP お申込フォームまたはFAXでお申込みください。

HP お申込フォームは、下記、URL より「京都ちびず」をクリックして、申込みフォームにご入力ください。

<http://www.castanet.co.jp/>

FAXは、下記、申し込み欄に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。

FAX:075-693-4625



申込締切：9月19日

【地域の企業と地元の蔵元がつながる！日本酒の会】

参 加 申 込 み			
フリガナ		男・女	TEL. ()
お名前 (フルネーム)			FAX. ()
ご住所	〒	緊急連絡先 携帯 勤務先 その他 ()	
会社名 / 団体名	Eメールアドレス (※PCメールで返信させていただきますので、必ずご記入ください)		

【個人情報について】

ご記入いただきました個人情報は、本イベントの運営の他、今後開催する京都ちびずイベント情報等に関するご案内のために利用させていただきます。上記目的以外で許可なく第三者への提供はいたしません。

【開催場所 地図】

【交通機関】

◎最寄り駅

京都市営地下鉄烏丸線四条駅徒歩3分
阪急京都本線烏丸駅 21番出口から北へ
徒歩5分
烏丸駅から215m

ホテルチェックイン四条烏丸2F
プレミアム百



株式会社カスタンネット 〒601-8037 京都市南区東九条西河辺町 33 番地 <http://www.castanet.co.jp>
TEL 075(681)9100 FAX 075(693)4625 E-mail info@castanet.co.jp

弊社は、京都府の委託事業「京都ちびず推進人づくり事業」を受け、京都ちびず団体の事業活動やサービス・商品について、市場や販路拡大につなげるプロモーションづくりを目的として、企業のCSR活動とタイアップすることで、相乗効果を引き出す取り組みを行っています。